

【障害者週間】 東欧音楽家支援 日本・ポーランド・ルーマニア文化交流演奏会
東日本大震災チャリティーコンサート

東京
芸術
劇場

Trumpet: Stanisław Karczewski



トランペット
スタニスワフ・カルチェフスキ

Mitsuyoshi Okawa Conductor

及川光悦 指揮



Piano: Mihai Ritivoiu

ピアノ
ミハイ・リティヴォイウ



INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 33rd

第33回
国際親善交流
特別演奏会

2020.10.20 火 東京芸術劇場コンサートホール(池袋西口)
開演18:30(開場18:00) 全席指定 S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000

東京都豊島区西池袋1丁目8-1 Tel. 03-5391-2111 代

6:30 p.m. TUESDAY, OCTOBER 20, 2020, AT TOKYO METROPOLITAN THEATRE

Program

ハイドン作曲：トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIle-1

トランペット：スタニスワフ・カルチェフスキ

HAYDN: TRUMPET CONCERTO IN E FLAT MAJOR, Hob. VIle-1 — Trumpet: Stanisław Karczewski

ブラームス作曲：ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83

ピアノ：ミハイ・リティヴォイウ

BRAHMS: PIANO CONCERTO No. 2 IN B FLAT MAJOR, Op. 83 — Piano: Mihai Ritivoiu

休憩

ドヴォルザーク作曲：交響曲 第9番 ホ短調 作品95 <新世界より>

DVORAK: SYMPHONY No. 9 IN E MINOR, Op. 95 <FROM THE NEW WORLD>

演奏：モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団 Mozart Virtuoso Festival Orchestra

お問い合わせ・チケット申し込み

日本音楽文化交流協会 TEL / FAX 03-3442-2325

Photo: 猪股政明

主催：国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会 TEL / FAX 03-3442-2325

後援：文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社・ポーランド共和国大使館・ポーランド広報文化センター・ルーマニア大使館・朝日新聞社・TOKYO FM

特別協賛：meiji 株式会社 明治

協賛：三菱電機株式会社・協和発酵キリン株式会社

協力：サッポロビール株式会社・メルシャン株式会社

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。

※障害者、養護施設、母子家庭、大震災避難者の方々を御招待致します。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

※本公演は、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインにそって、実施を致します。※体調不良の際は、ご来場をお控え下さい。※ご来場、ご鑑賞時等ホール内では必ずマスクをご着用下さい。

及川光悦 指揮 CONDUCTOR: Mitsuyoshi Oikawa

1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニュース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。1975年10月、研究科在学中に推薦されパリ留学。エコール・ノルマル音楽院にてビエール・デルボー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマル・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国、故岩城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。

同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。

1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、テレビダッケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、パリオベラ座、バイロイト音楽祭、ベローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積む。1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新星日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」〜「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11・PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、

上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもと「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」、FMジャパン「Jウェーブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）マルティス・フィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故園田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団（旧モスクワ放送交響楽団）」、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、ヤロスラブリ フィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）中国電影楽団にて日中国交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ペトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化教育省の後援のもとでフランス・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。

1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノク シンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月、日本・ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。

2001年5月、名門オーケストラである「サント・ペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満敦子女史と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。2011年10月、ポーランド（ピゴシチ）ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランド EU 議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。2013年1月〜2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。10月〜11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。

2014年7月、ルーマニア政府・トラヤン・バセスク大統領より「文化功績勲章」を受章。

2019年3月、ブルガリアー日本両国関係発展に対して、ブルガリア共和国政府・外務省より名誉表彰勲章「Golden Laurel Branch（金の月桂樹）」最高位を受賞。

2019年10月、ポーランド共和国文化国家遺産大臣より文化功労勲章「グロリア・アルティス」を受章。

スタニスワフ・カルチェフスキ Stanislaw Karczewski / トランペット Trumpet

ワルシャワ生まれ。7歳の時、ワルシャワにあるカール・シマノフスキ国立音楽学校に入学し、音楽教育を受け始める。その後、ピドゴシチにあるアルトゥール・ルービンシュタイン国立音楽学校トランペット演奏科にてトマシュ・グルスキ氏に師事。現在はフェリクス・ノヴォヴィエツキ音楽院にてロマン・グリニャ氏のもとで学ぶ。2019年、同院で学位を修める。Ronald Romm, Marco Pierobon, Frits Damrow, Wolfgang Bauer, Gabriele Cassone, Gabor Boldoczki 各氏によるワークショップに多く参加。Capella Bydgosciensis 室内楽団をはじめとするポーランドの楽団と多く共演。2015年にルトスワフスキ・ユース・オーケストラに参加、第一トランペットを担当。2019年、第12回国際音楽器コンクール（チェコ・ブルノ）で第2位入賞。ヤマハ音楽振興会コンクール第3位。2016年、ソスノヴィエツ芸術教育センター音楽コンクールで第3位、2015年、ピドゴシチ管楽器コンクール「ミニアトワ 2015」で第3位。

ミハイ・リティヴォユ Mihai Ritivoiu / ピアノ Piano

ミハイ・リティヴォユはブカレストで生まれ、6歳でピアノのレッスンを始めた。

国立ブカレスト音楽大学で、ウニチウ・モロイアス教授のクラスでピアノを学んだミハイは2012年に同校を首席で卒業し、現在はロンドンのギルドホール音楽演劇学校でジョン・ハヴィル教授に学んでいる。彼はまた、ドミトリー・パシキーロフ、ドミニク・メルレ、リチャード・グード、エマニュエル・アックスなどのマスタークラスにも参加した。

また、ルーマニア人ピアニスト、ヴァレンティン・ゲオルギウからもアドバイスやガイダンスを受けている。ミハイは2010年、ブカレストの「ディス・リパティイ全国コンクール」で優勝し、2011年ジョルジュ・エネスク国際コンクールでも入賞を果たした。2014年には、タンブリッジ・ウェルズ国際ヤングコンサートアーティストコンクールで第2位を獲得したうえ、ベートーヴェン・ピアノ・ソサエティ・オブ・ヨーロッパ主催の大学対抗コンクールでも優勝を果たした。ミハイは、イギリス、ルーマニア、スイス、ポルトガル、フランス、イタリアなどで演奏し、会場も、バーバカン・センター、ウィグモア・ホール、ルーマニア・アテネウム、エルネスト・アンセルメ・スタジオなど多くを経験している。彼の演奏は、ラジオ・ルーマニア音楽部、スイス・ラジオ・ロマン・エスパス2等で放送され、2014年には、BBC ラジオ3・イン・チューンに出演した。ミハイのギルドホール音楽演劇学校での勉学には、英リバーヒューム・トラストからの助成金が出ている。

Conductor



Trumpet



Piano

